



平野 勝澄 議員

7人が登壇

■介護サービス待機者の現状把握と要望の実現を
■人口減について、転出者の動向は把握されているか

町長

□施設に個別情報の報告は求めている。契約に直接関与はしない
□就労・賃金と雪対策が課題。平成32年総人口8,000人を目標に施策を充実

議員 特養ホームやその他の施設への入居待機者数は。入所者の選定方法は。

町長 介護サービス利用は、要介護者と介護サービス事業所との私的契約に基づくものであり、保険者である行政は直接的に介入はしない。各施設に申込者の個別情報の報告等は求めている。必要に応じて聴き取っており、実数把握は行っていない。聴き取りを行ったある特養では、実質的

な在宅申込者は20名程度、緊急性の高い在宅での待機者は10名程度とのことである。介護施設の入所者決定について、町行政は直接関与していない。各施設が県の指針を基に個別に入所指針を策定し、検討委員会等の会議を経て入所決定を行っている。

議員 人口減の詳細の分析と対策の検討は行われているか。

町長 ここ5年間の人口減少のうち、転出入で454人の減、出生死亡の差で476人の減。まちづくり町民アンケートでは、町の住みにくい点は、就労の

人とし、人口減に歯止めをかけていきたい。

真室川町に住みやすいか			
住みやすい	住みにくい	どちらとも思えない	無回答
42%	11%	41%	6%
住みにくいと思う点			雪が多い等自然環境が悪い
就労の場が少なく賃金なども低い	交通の便が悪い	雪が多い等自然環境が悪い	
27%	18%	17%	9%
住み続けたいか		他へ移りたい	
住み続けたい	当分住み続けたい	他へ移りたい	
50%	23%	9%	
他へ移りたい理由			
無回答	雪が多い	よい職場がない	余暇を楽しむ場所がない
34%	7%	18%	7%
		13%	3%

他の質問

- 除雪オペレーター資金改善の考えは
- 公契約条例検討の考えは

■持続可能な農業の実現のために 新規就農者の支援拡大を

町長

□新規就農者の確保と安定経営を支援する



大友 又治 議員

議員 農業産出額の拡大施策は。

町長 担い手や農業法人等への農地の集約、経営の規模拡大と農作業の効率化が、農業産出額の拡大に繋がる。耕畜連携を核とした自給飼料増産による畜産の振興・規模拡大と併せ、コメと園芸作物や畜産を併せた複合経営を推進・定着すること



農業後継者のきゅうり栽培

必要がある。更に該当者を掘り起こし、新規事業の「農業後継者育成支援事業」と併せ、積極的な制度活用を図って新規就農者の確保と安定経営を支援する。

議員 農産物の安全・安心施策は。

町長 放射性セシウム等は、当面県の検査結果を注視、一体的に対応し、学校給食の食材等は、流通または加工段階で確実に検査されていることを確認していく必要がある。

議員 新規就農者の支援拡充を。

町長 国の青年就農給付金制度は、農地の所有権・利用権のほか「人・農地プラン」への位置付けなど、クリ



は場整備が完了した水田

他の質問

- 農業の6次産業化の具体的推進施策は